

生活支援技術VI

担当教員 馬場 敏彰

配当年次 3年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 4

【授業のねらい】

利用者にとっての睡眠の確保と安眠への支援が、快適な生活の基本であることを学ぶ。さらに人間の尊厳にかかわる「終末期」における医療との連携の必要性を理解し、介護福祉士としての役割を身につける。

【授業の展開計画】

詳細な授業計画および準備物等については、第1回目の講義で説明する。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	心臓・呼吸機能低下傾向の人の生活理解	16	終末期の介護（尊厳の保持）
2	心臓・呼吸機能低下傾向の人への介護方法	17	終末期におけるアセスメントの視点
3	腎臓機能、膀胱直腸低下傾向の人の生活理解	18	ICfの視点にもとづく終末期のアセスメント
4	腎臓機能、膀胱・直腸低下傾向の人への介護	19	終末期における医療との連携の意義と実際
5	認知・知覚機能低下傾向の人への介護留意点	20	終末期における介護（援助の基本姿勢）
6	認知・知覚機能低下傾向の人への介護方法	21	終末期における介護（他職種との連携等）
7	精神障害の人の生活理解と介護方法	22	終末期における介護（具体的援助）
8	精神障害の人への介護方法	23	臨終期の介護（症状の変化への援助）
9	発達障害者支援技法	24	死別期の介護の留意点と方法 死後のケア含
10	重複障害（重症心身障害）への介護方法	25	グリーフケア 意義・目的 援助者の役割等
11	自立に向けた睡眠の介護（意義・目的）	26	他の職種の役割と協働
12	睡眠に関するICFの視点によるアセスメント	27	多職種間の連携と介護福祉士の役割
13	安眠のための介護の留意点	28	一連の生活支援技術（施設生活）
14	安眠のための介護の方法と工夫	29	一連の生活支援技術（在宅生活）
15	終末期の介護（意義・目的）	30	尊厳ある支援を提供するための方法の理解

【履修上の注意事項】

授業後の復習、授業前の予習を行うこと

【評価方法】

期末試験 80% 授業態度及び取り組み状況 20%

【テキスト】

『生活支援技術Ⅱ』『生活支援技術Ⅲ』中央法規

【参考文献】

適宜提示する。